



原発なくそう！玄海訴訟NEWS



発行◆「原発なくそう！九州玄海訴訟」原告・弁護団&ささえる会 事務局
2013年3月8日号 佐賀市中央本町1-10 佐賀中央法律事務所気付 Tel:0952(25)3121 Fax:0952(25)3123

風船プロジェクト 結果公表記者会見、自治体要請

住民を守るためには玄海原発は再稼働中止、廃炉しかない！

3月6日、「風船プロジェクト実行委員会」は第1弾の結果を示し、佐賀県の古川康知事に玄海原発の再稼働中止、廃炉などを要請しました。長谷川照団長(写真右)、柳原憲文リーダー(写真左)ら原告弁護団8名が参加したほか、呼びかけにこたえて「さよなら原発！佐賀連絡会」のメンバー3名もかけつけました。長谷川団長は「県民の命や財産を守るのが県の仕事。九電より以上に考えてもらわないと困る」と厳しく指摘しました。原子力安全対策課の東主査、防災対策グループの古川主査が対応、東主査は「上司を通して知事まで伝えたい」と回答しました。



3月6日佐賀県庁

要請後の記者会見にはテレビ・ラジオ含め9社が取材に来ており、NBC佐賀ラジオやサガテレビなどで報道されました。また翌7日には玄海原発により近い唐津市でも要請行動に取り組みました。

要請後の記者会見にはテレビ・ラジオ含め9社が取材に来ており、NBC佐賀ラジオやサガテレビなどで報道されました。また翌7日には玄海原発により近い唐津市でも要請行動に取り組みました。

2月20日は小川洋福岡県知事、高島宗一郎福岡市長、九州電力に要請しました。福岡市、糸島市、大野城市、唐津市などから原告弁護団約20名が参加しました。



2月20日福岡県庁

福岡県・市では人数制限はありませんでしたが、九電は事前に人数を5人と指定してきました。

代表で要請した大野城市の原告(女性)は「九電が“放射性物質とガンとか病気との因果関係はいっさい認めない”と回答したことにとっても驚いた」と報告しました。唐津市から参加した原告(男性)は「全部同じようなオウム返しのような答えが用意されているのかなと思った」と述べました。

柳原リーダーは「根底にある九電の体質が変わらないと改善しない。風船プロジェクトの成功で九電を変えろという立場にたってやっていかなければならないと決意を新たにしたい」と語っています。なお、第2弾は4月14日(日)の予定。詳しくはコチラ→<http://genkai-balloonpro.jimdo.com/>



2月20日福岡市天神

結果チラシを配って街頭宣伝する様子。40分ほどで300枚がなくなりました。

4月12日(金)提訴予定原告数250名(3/6 現在) 原告増やしにご協力を。友人・知人を誘ってください。